

7

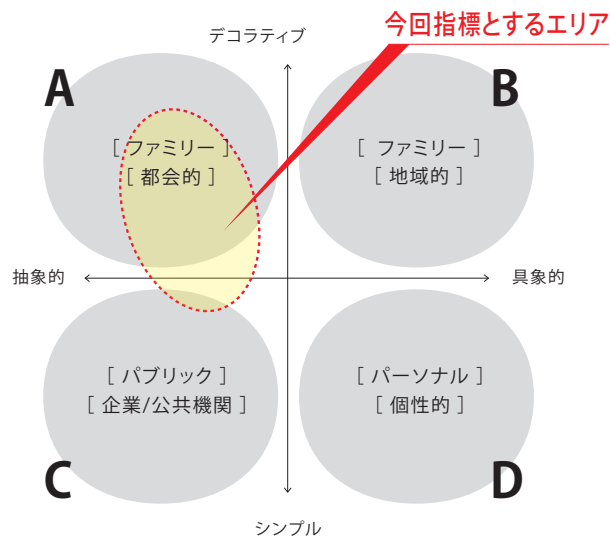
明確なVIの設定

施設テーマの共有と浸透を図り、今後の施設整備の旗印として広く発信していくために、コンセプトの「ツナガリウム」の概念を盛り込んだプロジェクトロゴを開発する。

ロゴのクライテリア（判断基準）の設定

- ◇ 人・自然・動物のつながりが描かれていること。
- ◇ こどもにも大人にも親しみやすいものであること。
- ◇ 未来に向け受け入れられるよう、**スマートな印象である**（Coolである）こと。
- ◇ 媒体での発信だけでなく、立体造形や映像表現などへの**展開拡張性**があること。

指標とするエリアの抽出



今回指標とするエリア：A：デコラティブ/スマートな印象/抽象的 COOL

日本一ユニークな施設を目指し施設が拡張深化するにあたり、より広範なターゲットに施設の理念と魅力を伝え、記憶に残してもらう為に、エリアAのストーリー性を感じさせながらも、色数や線数を制限し、飽きがきにくく洗練された印象となるデザインイメージをめざす。

前頁で設定したクライテリアに照らしたロゴマーク3案を提示する。プロジェクトの段階に合わせて絞り込み・活用することとする。

A 案



1本のラインで人と動物と自然のつながりを表現

- (沖縄の風になびく) しなやかで流れる様なデザイン
- 全体のシルエットを丸い三角形に、その3点に人と動物と自然を配置
- サインもピクトもPVも1本のラインで展開
- 「繊細」「つながり」「エレガント」

B 案



人と動物と自然を有機的にパズル状に組み合わせ

- シンプルでクールなモチーフが一体となっているデザイン
- 7つのゾーン (map) を象徴するモチーフ
- モチーフ単体を (サインへ、オブジェへ) モノとして展開
- 「強さ」「かたまり」「エネルギー」

C 案



人 (横顔) と動物 (象) と自然 (ガジュマル) をミニマルに表現

- シンプルなシルエットで大人のデザインに
- 一筆書きでつながりを強調
- 「不思議」「変化」「POP」

